

I. 建学の精神・大学の基本理念、使命・目的、大学の個性・特色等

千葉工業大学は、大学として 80 年近い伝統を誇る。前身は昭和 17（1942）年に大学令により認可された興亜工業大学である。旧制工業大学に端を発し、日本で最も長い歴史を有している。

興亜工業大学は設立趣意書に「志操堅固、学理及び技術に優秀なる工業人材の育成」と記した。「新国土の養成」「全人教育」「労作教育」「塾教育」などを教育の理念として、向学心に燃えた学徒に門戸を開いたのである。創立時の学科構成は「航空学科」「冶金学科」「機械学科」の 3 学科であった。太平洋戦争の混乱に翻弄され、数度の校地移転を強いられる苦難の時代を経て、昭和 21（1946）年に現在の千葉工業大学に改名した。

現在 5 学部 17 学科、大学院は 5 研究科（修士課程 14 専攻、博士後期課程 3 専攻）を展開し、約 1 万人の在籍者を擁している。

建学の精神は、前身である興亜工業大学からの伝統を受け継ぎ、「世界文化に技術で貢献する」と定めている。また、建学の精神に基づいて以下の教育目標を掲げている。

師弟同行、師弟共生の教育を以て、

- ・ 広く世界に知識を求める好学心を持つ人材の育成
- ・ 自ら学び、自ら思索し創造する人材の育成
- ・ 自由闊達、機智縦横な人材の育成
- ・ 善隣及び協力をつくり上げていく人材の育成
- ・ 高度な専門知識と豊かな教養を持つ、学理及び技術に優秀な人材の育成を目指す。

これらの教育目標は、グローバル化が進む今日の社会情勢において、ますます重要となっている。個々の学生の自主性、探究心、想像力をより引き出す教育に力点を置き、広く世界で通用する人材育成を目指している。また、自ら学び、自ら思索し、創造する力をも身につけるだけでなく、教授陣や研究生らと自由闊達な議論を交わすことにより、異なる意見や多様な価値観を理解・吸収し、個々の知識の幅を広げる教育も実践している。すなわち、これが「善隣および協力をつくり上げていく人材」である。専門分野における知識・能力の向上だけでなく、職場や地域社会で周囲の人々と協調しながら、よりよき社会に寄与できる豊かな人格形成を目指している。

本学の使命は、建学の精神である「世界文化に技術で貢献する」人材の育成である。「学則」には「教育基本法に則り学校教育法の定める大学として、科学技術の理論と応用を教授研究するとともに、豊かな教養を備え人類福祉のため進んで協力する意欲と識見を持つ人材を養成することを目的とする」と定めている。戦後の混乱、高度経済成長を経て、現在の日本では独創的な発想を具現化できる人材が求められている。そこで本学では、科学技術分野で将来の日本、そして世界の平和と発展に寄与できるグローバルリーダーを輩出すべく、多種多様な教育・研究活動を実践している。